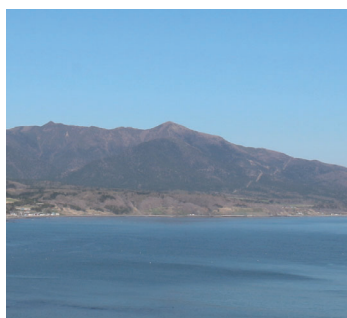


平成30年度・施政方針

今年度はどのような方針で、まちづくりを行っていくのか、3月の町議会定例会で示された、施政方針をお知らせします。



アポイ岳

はじめに

平成30年度様似町一般会計予算などのご審議をいただき町議会の開会に当たり、町政執行の所信を申し述べさせていただきます。

すでに4期目の町政を担わされていたとおりですが、これまでの町政執行に対する議員並びに町民皆様のご協力にあらためて心から感謝を申し上げますとともに、ここに新年度を迎え決意も新たに、今年も、町民の皆様と「共に考え 共に働き 共に汗して」身の丈に合った財



町長 坂下一幸

政運営と将来を見据えた課題に取り組みながら、ふるさと様似の持続に努めてまいります。

長期的な見地に立ち、まちづくりを計画的・効率的に推進するための指針である第8次様似町総合計画最終年次における人口推移の予測は、4400人を基準人口としておりますが、最終目標年次の3年前である本年度において、すでに基準人口を下回る深刻な人口減少が続いており、先行き不透明な厳しい時代を迎えています。

様似町は、シンボルであるアポイ岳を中心とした豊かな大自然の恵みなどにより、2015年度にユネスコ世界ジオパークに認定されましたが、さまざまな面において都市部とは著しい地域格差のある町でありますので、各産業の活気が町の活性化

を促し、豊かな自然環境を活かして交流の輪を広げ、小さく脆弱でも町民同士が助け合いながら暮らしていける町を目指してまいります。

そのためには、町民皆様が積極的にまちづくりに参画していただくことと、町を支える人づくりが必要であり、そのことによって、厳しい時代ではあるものの、ふるさととして持続することが可能と考えています。

特に本年は、ジオパーク活動が10年目の節目を迎えますが、様似町において初めて経験する約1000人規模の「第9回日本ジオパーク全国大会・アポイ岳（北海道様似町）大会」を10月6日～8日に開催いたしますので、様似町を全国に発信する機会になり、何よりも小さな町での開催成功は、町の未来に可能性をもたらす大きなチャンスと捉え、町総ぐるみで取り組みたいと考えています。

ここで、各分野の平成30年度の推進方針について申し上げます。

1 推進体制確立のために

安倍総理は、本年1月の施政方針演説において、日本は少子高齢化という「国難」とも呼ぶべき危機に直面していると言及しました。

本町においても少子高齢化が進み、急速な人口減少による人手不足問題が課題となっております。産業分野や福祉分野などさまざまな業種に与える影響が危惧されています。

また、人口減少に伴う町税や地方交付税の減収、給水人口の減少が水道事業経営に与える影響、公共施設の老朽化に伴う改築や維持補修、学校給食実施などの課題も山積みしている中、特に人口減少の影響などによる普通交付税の減額により、抜本的な事務事業費の見直しを行

い、財政収支のバランスを保ちつつ、引き続き国などの制度を模索するなど財源の確保に努め、また、補助制度等の見直しについて国や北海道へ働きかけながら、健全で安定した財政運営を図る必要が生じております。

本町では、現在、第8次様似町総合計画において、ジオパークによるまちづくりの推進を掲げ、ユネスコが認めた固有の資源を活かし、今後においても本町の総合施策として、地質・自然・文化遺産の保全、教育・観光の振興、景観・インフラの整備、自然災害への対応、広報の充実など多岐にわたる施策について、住民の参画を図りつつ横断的に推進してまいります。

また、本年10月には日本ジオパーク全国大会が本町で開催されることとなっていることから、多くの町民皆様のご協力をいただく中で、全国からの参加者を様似ならではの魅力でお迎えし、本町の取り組みや魅力を全国に発信してまいります。

移住・定住対策については、様似町東京事務所での活動のほか、来町されるかたに対する生活体験メニューやおもてなしのほか、町内の各種情報を提供するなど、来町されたかたの移住定住につながるような取り組みを図ってまいります。

品に限りがあることや仕入れ数に限りがあることなどにより、29年度目標寄付額の1億円を達成することが難しい状況となっており、新年度においても引き続き町内企業の協力をいただき、新たな返礼品の提供などの努力に期待するところでありますし、内閣府の承認を得る中で、まちづくりに賛同いただける企業に対して寄付を募る「企業版ふるさと納税」にも新たに取り組むことといたします。

また、ふるさと納税でいただきました貴重な寄付金については、新年度予算においても希望された使途に基づき各事業費へ充当させていただいたところであります。

2 住みよい環境をつくるために

山と海の景観が美しい本町には、アポイ岳登山のベースキャンプである「アポイ山麓ファミリパーク」、短い夏を楽しむ「親子岩ふれ愛ビーチ」、様似を一望できる「観音山公園」や「エンルム岬公園」などがあり、町民の憩いの場となっており、観光客が訪れます。

こうした多くのかたが、

4年後の開基220年・町制施行70周年に向け、記念行事の検討とともに引き続き様似町史の編纂に着手することとしております。

また、花の減少が危惧される「アポイ岳」の高山植物等は、一昨年に専門家で構成する「アポイ岳環境科学委員会」を設置し、現状把握やハイマツ等の試験伐採、中学生による再生活動などに取り組ん



親子岩ふれ愛ビーチキャンプ場

でおりますが、引き続きアポイ岳ファンクラブや北海道と連携を図る中で、保全のための調査・研究に取り組んでまいります。

■推進体制の確立のために

…主な取り組み

- ▼健全で安定した財政運営
 - …財政収支のバランスを図り、国などの制度を活用
- ▼アポイ岳ユネスコ世界ジオパークによるまちづくり
 - …地質・自然・文化遺産の保全、教育・観光の振興など多岐にわたる施策を推進
- ▼日本ジオパーク全国大会の開催
- ▼移住定住対策
 - …様似町東京事務所の活用、移住体験メニューや町内の各種情報を提供
- ▼ふるさと納税の継続及び新たに企業版ふるさと納税への取り組み
- ▼新たな様似町史の編纂に着手

■住みよい環境をつくるために

…主な取り組み

- ▼自然環境の保全・活用
 - …計画的な施設・設備等の改修や環境整備
- ▼住宅の整備
 - …公営住宅平宇団地の建替事業
 - …個人住宅の新築・リフォームを対象にした補助制度の継続
- ▼子育てに対する支援
 - …乳幼児から中学生までの医療費の無料化を継続、新たに対象を18歳まで拡大
- ▼上下水道の整備
 - …施設の計画的な改修・修繕と更新に取り組み、安心・安全な給水体制の継続と公衆衛生の向上を図る
- ▼浄化槽設置整備事業の推進
- ▼し尿処理
 - …MICS事業（污水处理施設共同整備事業）の推進
- ▼ごみ処理事業
 - …クリーンセンターの計画的な改修・整備
 - …一般社団法人様似町衛生協会との連携
 - …一般廃棄物最終処分場広域化事業の推進

き、新たに平宇団地建替1棟3戸の建設に着手するとともに、大通第1団地のエレベーター2基を現行建築基準法に適合するよう改修し安全性を高めます。

個人住宅については、住宅の新築及びリフォームを対象とした補助制度を継続し、住環境整備及び本町の経済の活性化に支援をしてまいります。

子育て世帯が住みよい地域づくりのため、子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して必要な医療が受けられるよう、乳幼児から中学生までの医療費の無料化を継続いたします。

なお、新年度から新たに対象を18歳まで拡大し、子育て環境の拡充を図ります。

水道事業については、給水収益の減少に加え、老朽化する施設の更新及び維持管理、その費用及び事業運営全体の財源確保が課題となつていますが、昨年度より引き続き簡易水道事業等に対する一般会計からの繰り入れを行い、一部財源を確保する中で、施設の計画的な改修と更新に取り組み、給水機能の安定確保を図り、将来にわたつて安心・安全な水の供給体制を確立するよう努めてまいります。

に要望していくことといたします。

また、昨年は台風などによる大きな被害はなかったものの、引き続き氾濫被害を減少させるための大型ポンプの整備や河川改修を行うなど、防滅災の観点に立った取り組みを推進することとします。

昨年度の火災発生状況は、1月末現在で建物火災1件、車両火災1件の発生で、残念ながら建物火災において1名の死者が発生しておりますので、一般住宅をはじめ各種防火対象物、危険物施設等への防火査察や啓発活動の推進を図り、防火意識の普及高揚に努めるとともに、消火栓更新などの消防力の強化を図ってまいります。

救急体制については、救急救命士の処置範囲の拡大に伴い、より高度な救急処置ができるよう技術の向上を図るなど、救急業務の強化に努めてまいります。

また、様似町消防団が日高管内を代表して、7月に江別市で開催される「全道消防操法訓練大会」に出場いたしますので、消防団一丸となり訓練に取り組

下水道事業については、中期ビジョンに基づき、長期的かつ計画的な施設の修繕及び更新を進め、施設の長寿命化を図っており、財政運営では、公営企業会計化といった制度改正を見据え基盤整備に努めているところですが、引き続き下水道を活用した公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全に努めてまいります。

また、下水道区域外の地域については、環境面での格差を解消し、生活環境に必要な不可欠な浄化槽の普及促進を図るため、新規設置者を対象に国の浄化槽設置整備事業を引き続き活用する中で、設置者の負担軽減と生活排水対策を推進し、住みよい環境づくりを進めてまいります。

日高東部衛生組合において進めているMICS事業（汚水処理施設共同整備事業）は、施設建設スケジュールに基づき、新年度は実施設計を行い、平成34年度の供用開始を目指しており、日高東部衛生組合の構成町である本町もMICS事業に引き続き参画してまいります。

クリーンセンターについては、施設・設備等の改修整備を計画的に行い、稼働に支障のないよう維

んでまいります。

本町は、海岸線に沿って集落が形成され、がけ地を背後にする集落が多くあり、台風や近年多発している集中豪雨、高波、高潮などの災害から、地域住民の生命と財産を守るため、必要な河川管理施設及び海岸保全施設等の防災対策について、引き続き関係機関へ要請してまいります。

交通安全については、「様似町交通安全条例」の生命尊重の理念に基づき、町民一人ひとりの交通安全意識を図るため、関係機関・団体と協働し、各種交通安全運動の啓発活動を実践する中で、交通事故のない安全で

持管理に努めてまいります。今後においても一般社団法人様似町衛生協会と連携し、本町の一般廃棄物の収集・運搬、処理事業の適正な業務体制の充実を図り、住みよい生活環境づくりに努めてまいります。

最終処分場については、受入れ可能な一般廃棄物を新年度から搬入するための準備を進めてまい

3 安全な生活を送るために

本町における北海道が示した津波の最大水位とその浸水予測は、ハードに頼った防災対策が困難なこと、また、本町には土砂災害の危険性が高い地域が多

くあり、既に鶴苫・朝日丘・冬島・幌満の各地区において警戒区域が指定されているところですが、昨年度において、西町・西様似・本町1丁目・栄町・平

■安全な生活をおくるために …主な取り組み

- ▼防災
…土砂災害警戒区域指定に伴う住民説明会の実施及びハザードマップの作成、氾濫被害を減少させるために大型ポンプの整備や河川改修を行い防滅災を推進、河川管理施設及び海岸保全施設等による防災について関係機関と協力
- ▼消防力・救急体制の強化
…消火栓を更新、救急救命士の救急処置技術の向上、全道消防操法訓練大会出場
- ▼交通安全
…町民一人ひとりの交通安全意識を高め、事故のない安全で快適なまちづくりの推進
- ▼防犯活動
…安全で明るい地域社会の実現、犯罪被害者支援体制の充実
- ▼空き家対策
…空き家等の適正管理に関する条例に沿った取り組み、空き家バンクを利活用した移住・定住

安心なまちづくりの実現を目指してまいります。

防犯については、「様似町安全で住みよいまちづくり条例」のもと、町民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、町と関係機関・団体、住民が一体となって防犯活動に積極的に取り組み、犯罪のない明るい地域社会の実現に努めてまいります。

また、犯罪による被害者の支援については、日高東部3町の各関係機関で構成する浦河地区被害者支援連絡協議会と緊密な連携と相互協力を図り、被害者の求めに即応した支援活動の充実に努めてまいります。

4 健康で幸せな生活を送るために

感染症対策では、国で定めた定期の予防接種の正しい知識の普及・啓発を進めるとともに、接種率の向上に努めてまいります。

インフルエンザワクチンについては、子育て支援の観点から、18歳までの子どもに対し全

「空き家対策については、「様似町空き家等の適正管理に関する条例」に基づき、老朽化した空き家の所有者等に対し、除却等の働きかけを行うとともに、入居可能な空き家の利活用を促進するために、昨年度実施した

「空き家に関する意向調査」の結果に基づき、空き家バンクへ登録を希望する所有者と情報を共有し、本町の空き家戸数削減に努めるとともに、移住・定住対策を進め地域の活性化を図ってまいります。

■健康で幸せな生活をおくるために …主な取り組み

- ▼各種予防接種
…インフルエンザワクチン・高齢者肺炎球菌ワクチン助成
- ▼母子保健
…妊婦健康診査・周産期医療通院費・不妊治療費・新生児聴覚検査助成
- ▼成人保健対策
…MRI脳検診、各種がん検診、無料クーポン券の配付、ワンコイン健診
- ▼歯科保健
…むし歯予防教室、成人歯科検診の実施
- ▼栄養改善
…各年代対象料理教室の開催、食育の理解を深める取り組み
- ▼地域福祉・高齢者福祉・介護保険
…様似町社会福祉協議会や様似福祉会との緊密な連携
…地域包括ケアシステムの構築
…地域見守り活動の充実
- ▼障がいのある人の福祉
…地域生活支援事業の充実
- ▼アイヌの人たちの生活の安定向上
…北海道や様似アイヌ協会と連携
- ▼国民健康保険事業
…安定的運営を目指すため北海道と全道各市町村との共同運営
…医療費の適正化と財源確保に努める
- ▼後期高齢者医療制度
…加入・保険料収納事務の円滑な推進



消防訓練大会



乳幼児健診

妊治療費、新生児聴覚検査の助成を継続し、安心して出産、子育てができる環境を整えてまいります。

また、乳児家庭全戸訪問や養育支援訪問、児童の発達相談等については、医療・児童福祉機関及び幼児センター等の関係機関との連携を図るとともに、乳幼児健診を実施し、子どもの健康増進や子育て支援に努めてまいります。

成人保健対策では、MRI脳検診や各種がん検診事業などを継続し、引き続き無料クーポン券の配付や受診勧奨、PR等を進め、受診率の向上に努めてまいります。

また、糖尿病などの生活習慣病予防や早期発見のため、40歳

以上のかたを対象とした、特定健診やミニドックを春と秋に実施していますが、健診率向上のためのPRの強化や若い世代の健康意識の向上を図るため、20歳から40歳を対象にしたワンコイン健診を推進し、健診後の生活改善指導や各種健康教室、健康相談を通して町民の将来的な健康維持を図ってまいります。

歯科保健対策では、子どもの虫歯予防教室や成人歯科検診のほか、幼稚園や小学校に向いでの指導を継続してまいります。

栄養改善事業では、食育計画に沿って小学生から高齢者までの幅広い住民を対象とした料理教室を開催し、食に関わる実態調査の結果を踏まえ、食育の重要性についての理解を深める取り組みを推進してまいります。

本町の医療機関のうち、一般診療所の1医院は、札幌市の恵和会西岡病院と統合して、現状の医療環境は確保されましたが、診療体制は現状と変わらず1人体制の中で、救急患者の受け入れや休日診療、町内福祉施設の回診など、医師に係る負担が依然として大きいことから、

派遣医師及び看護師に係る費用の助成を継続し、安心して暮らせるよう最大限の努力をしてまいります。

また、保健医療や介護の人材不足が深刻となっており、養成施設に修学するかたや町内に就職する有資格者に対する「修学・就業資金」貸付制度を継続するとともに、その周知を図り、人材確保に努めてまいります。

浦河赤十字病院は、日高圏域の地域センター病院及び災害拠点病院としての役割を担っていることから、引き続きその支援を図ってまいります。

本町における地域福祉・高齢者福祉を推進するために、「第2期様似町地域福祉計画・第5期様似町地域福祉実践計画」に基づき、地域住民や福祉機関、医療機関、民間事業者との連携を図りながら、福祉施策を推進してまいります。

特に、様似町社会福祉協議会や様似福祉会との連携が重要でありますので、引き続き連携を密にし、本町の福祉の充実に取り組んでまいります。

介護保険制度の改正により、居宅介護支援事業所を指定する

権限が移譲され、介護予防日常生活支援総合事業を町が実施することになるなど、介護保険制度に対する保険者の役割が一層高まっています。

3年ごとに見直され、新年度から始まる「様似町高齢者保健福祉計画・第7期様似町介護保険事業計画」に基づき、介護予防や重度化防止が重要施策となっていることから、多様なサービスの創出やボランティアの養成に引き続き取り組みとともに、地域における生活支援体制の整備や認知症総合支援、医療と介護の連携を推進し、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けられるよう「地域包括ケアシステム」の構築に努めてまいります。

また、高齢者虐待の防止や成年後見制度の利用支援事業を推進し、障がい者や認知症高齢者の権利擁護に努めてまいります。

現在、関係機関や民間事業者の協力により、地域見守り協定を締結する中で、地域からの孤立死の防止に努めておりますが、さらにそのネットワークを広げ、地域における見守り活動

を充実してまいります。

障がいのある人の福祉については、新年度から見直される「障害者計画」及び「第5期障害福祉計画」に沿って、地域社会の中で安心して暮らせる環境を確保するとともに、ノーマライゼーション理念の普及啓発を促進し、地域生活支援事業の充実を図ってまいります。

現在、国においては法的措置の必要性を含めたアイヌ政策の総合的な検討を行っており、また、北海道ではアイヌの人たちの生活の向上を図るため、教育や労働、住宅、産業など暮らしに係る各種の施策が展開されていることから、本町においても、引き続き国や北海道の施策と連携を図り、アイヌの人たちの生活の安定向上に努めます。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピックでのアイヌ古式舞踊の披露が予定されていることから、さまざまな局面でアイヌ文化の価値をあらためて認識する好機となっており

ます。本町においても、様似アイヌ協会や関係機関と連携し、アイヌの人たちが北海道の厳しい自

然の中で培ってきた歴史と文化を地域の宝として後世に伝えるための保存活動に努めてまいります。

国民健康保険事業については、急速に進む少子高齢化の下での安定的運営を目指すため国民健康保険法が改正され、本年度から全道各市町村と北海道が共同で運営を担うこととなり、財政運営の責任主体が北海道となります。

新たな国民健康保険制度の目的は、市町村で大きな差がある保険税を平準化し、全道で公平な負担に近づけていくことと、市町村が抱える医療費増加のリスクを全道で分散させていくことにあります。

本町においても、従来どおり身近な窓口として、保険税の決定・徴収、保険証の発行などの

資格管理、医療給付の決定・支給、きめ細かい保健事業などを行ってまいります。

新年度も厳しい経済状況の中で、自主財源を確保するため常に収納率の向上が求められることとなりますし、流行性疾病等の発生により、医療費の急激な増加も考えられ、常に不安定な財政運営ではありますが、収支の均衡が図られるよう、引き続き医療費の適正化と財源確保に努めてまいります。

後期高齢者医療制度については、北海道後期高齢者広域連合が制度を運営し、窓口業務を担う本町においても、引き続きその内容について対象者への周知徹底を図り、制度の理解を求めるとともに、加入事務及び保険料の収納事務の円滑な推進に努めてまいります。

5 心豊かな人間性を養うために

法律の改正に伴い、平成27年度から町長と教育委員会が協議・調整する場として総合教育会議を設置し、その中で平成28年度から5年間の教育に関する総合的な施策の方針を示す「様

似町教育大綱」を策定しており、この大綱に基づき、町長と教育委員会が教育施策の方向性を共有しながら、時代の変化に対応した教育行政の推進に努めてまいります。

6 豊かな暮らしを生み出すために

農林水産業を取り巻く情勢は、担い手の減少や高齢化の進展、原油価格の影響等を背景とする燃油価格や生産資材等の高騰などにより厳しい環境にあるといえます。加えて、昨年11月には、米国を除く11カ国による「TPP11交渉」が大筋合意に至り、また、12月には、「日EU・EPA交渉」が妥結したことに

より、輸入農林水産物との競合が懸念されることから、今後も引き続き国の動向を注視し、北海道や関係機関とも連携を図り対応してまいります。

農業については、経営所得安定対策制度や農業次世代人材投



イチゴ「すずあかね」

資事業の活用などにより、農家所得の安定と青年就農者及び研修者への支援を続けることともに、基盤整備では道営事業・中山間地域総合整備事業により、草地や排水路の整備による農地の高度化を進めてまいります。軽種馬生産については、近年の国内の経済状況を反映し、売却頭数、販売価格も上向いてきていますが、今後も引き続き、国や北海道、関係機関・団体と密接な連携を図り、各種事業の積極的な活用などにより、生産農家の経営安定と向上に努めるとともに、産地競馬である「ホツカイドウ競馬」への支援及び協力を図りながら馬産地の活性化に努めてまいります。

施設園芸の夏秋採りイチゴ栽培については、就農者の増加に伴い、昨年、JAひだか東が本町に選果場を整備するなど、生産量、生産高とも着実に増加しています。また、新たな事業として、更なる産地強化を図るため、現在作付けを奨励している品種「すずあかね」の生産性や

品質の向上、販路の拡大や試験輸送に関する調査、規格外品を主とした新たな商品開発の調査を行う「JAひだか東四季成りいちご生産販売戦略向上推進協議会」への参画、支援をしてまいります。

稲作では、著しい高齢化が進む中、これまで同様に、農業機械や作業の共同化を促進し、昨年、全量が1等米となったように、熟練された栽培技術をもって特別栽培米「アポイ米」の品質を維持し、ブランド化の定着を促進してまいります。

畜産業については、近年、素牛の価格が高騰していることから、引き続き優良肉用繁殖素牛の貸付制度の活用を促進させるとともに、本町で生まれた黒毛和種の素牛肥育を支援し、その食味を「地場産フェア」で周知してまいります。

乳用牛の放牧地として利用される町有牧野については、引き続き道営事業による草地基盤の整備を行い、生産性の高い基盤確保に努めてまいります。工事の実施に当たっては、関係機関・団体と十分協議をしながら進めてまいります。

■豊かな暮らしを生みだすために
…主な取り組み

▼農業の振興
…青年就農者及び研修者を支援
…「ＪＡひだか東四季成りいちご生産販売戦略向上推進協議会」への参画・支援

▼林業の振興
…森林資源の整備や保全、林道の整備
…エゾ鹿等有害鳥獣駆除対策事業

▼水産業の振興
…漁業後継者・新規就漁者の支援
…雑海藻駆除・各種増殖事業等の支援
…水産系廃棄物処理施設の支援

▼商工業振興
…プレミアム付き商品券事業支援
…就労促進・雇用確保・雇用拡充・労働力確保について関係団体と連携

▼観光振興・イベント・ＰＲ活動
…アポイ岳ユネスコ世界ジオパークのブランド力を活用
…「日高王国」事業の拡充・強化
…各種行事・イベントへの参加・支援・協力
…アポイ山荘の施設や設備の改修・機能維持

林業については、森林の持つ多面的かつ公益的な機能を持続的に発揮させるために、今後も森林の整備や保全を維持することが必要であり、森林整備計画に基づいた造林や保育、間伐などの森林施業を実施し、豊かな森づくりに取り組んでまいりますし、そのことによる地域経済の活性化や雇用の確保、さらには地球温暖化対策に貢献できるよう、適切な森林整備に努めてまいります。

道西冬島線」と、新たに木材輸送車両の通行等を目的とした「浜平宇幹線」の２路線の林道整備を進めてまいりますし、間伐や主伐事業により発生する林地残材等については、ひだか南森林組合の「木質バイオマス発電用チップ生産施設」へ搬入し有効活用してまいります。

エゾ鹿対策については、猟友会の理解と協力をいただく中で、積極的な有害駆除対策を進めているところですが、高齢化が進むハンター及び担い手対策として、ハンター免許取得助成の継続、町外からのハンターの受け入れなどにより、担い手の確保に努めてまいります。

水産業については、スケトウダラの豊漁もあり漁獲量では前年比１０２％でしたが、主力となる秋サケの不漁や昆布の減産、イカの不漁など、漁獲高では前年比９５％の約２８億６千万円となりました。

近年の温暖化による海水温の上昇など海洋環境の急激な変化による昆布の生育状況や定置網漁業におけるサケやイカなどの回遊魚類が減少傾向にあり、加えて燃油や資材の高騰など、漁業を取り巻く環境が厳しい状況を受け入れなどにより、担い手の確保に努めてまいります。

漁業経営者の高齢化や後継者不足から、漁家戸数の減少が進み、生産力や地域活力が低下しているため、基礎的な研修や資格取得、施設等の整備に対する助成を図るとともに、関係団体との連携を密接にし、後継者の確保に努めてまいります。

生産拠点となる漁港の整備については、事業が計画どおり円滑に整備促進されるよう、引き続き関係機関等への要請活動を継続してまいります。

また、水産系廃棄物の収集運搬業務を行っている「日高産業廃棄物処理事業協同組合」より秋サケの不漁が２力年にわたり続いたため、水産加工場から排出される廃棄物が激減し、厳しい経営環境に陥ったため、その支援要望を受ける中、水産加工場が多い本町にあっては、水産系廃棄物の処理施設の存続は、たいへん重要な課題でもありますので、その支援をしてまいります。

商工業につきましては、人口減少による購買力の低下やインターネット販売の普及による影響など、消費者ニーズや購買行動の変化に対応した経営が必要ことから、商工会では「経営発達支援計画」を策定しその具現化を目指しており、今後の商工業のあり方など十分に検討することとし、引き続き金融支援対策や設備投資資金への利子補給等の支援を続けてまいります。

また、町外に流出する購買力を食い止めるため、引き続きプレミアム付き商品券の発行や歳末大売り出しなどの町内での消費喚起事業を支援するとともに、地元産品や土産物の販売、

六次産業化による特産品開発など、商工会や関係団体と連携しながら推進してまいります。

本町の経済を支え、雇用の場として大きな役割を果たしている工業及び製造業については、今後とも雇用の維持、創出に期待するものであり、関係機関や団体などの活動を通し、就労促進や雇用の確保、技術の向上等、商工会と連携を図り、その支援に努めてまいります。

また、本町の深刻化する人口減少や高齢化により、人材・人手不足という労働力確保の問題が浮き彫りとなっており、すでに制度化されている農業や漁業、保健医療・介護従事者などはもとより、建設業や鉱工業などのさまざまな業種での雇用の拡充や支援策のあり方について、関係団体と連携を密にし、その対応を検討してまいります。

観光については、山と海を同時に楽しむことができる環境の中で、特色ある地形や希少な動植物、アイヌの口伝伝説や蝦夷地開拓の歴史遺産、新鮮な海の幸などの豊富な観光資源を、アポイ岳ユネスコ世界ジオパーク

のストーリーとして結びつけ活用しておりますが、今後においてもさまざまな体験プログラムの創出や着地型ツアーの実施を、観光協会や四町広域宣伝協議会との連携を図るなかで積極的に展開してまいります。

農林漁家体験民泊として毎年多くの修学旅行生を受け入れている「日高王国」には、昨年も大阪府の高等学校から３２４人が訪れ、そのうち本町では１０５人を受け入れています。

新年度以降においても継続した予約が入っており、今後も関係機関との連携を図りながら、受け入れ家庭の拡充と実施体制の強化に努めてまいります。

このたび、日高自動車道の厚賀インターチェンジが開通することで、さらに日高が札幌方面と近くなります。交流人口の拡大や本町並びに日高地域の知名度アップを図るため、近隣町や関係団体と連携を図り、道内外で開かれる各種イベントや物産展等に積極的に参加し、販路拡大や本町のＰＲ活動を展開してまいります。

イベントでは、毎年多くの観光客が訪れる「第９回さまにウニまつり」

二まつり」や伝統ある「第４８回アポイの火まつり」などのＰＲ活動を充実し、町民をはじめ多くの来訪者に楽しんでもらえるよう、その支援や協力体制を整えてまいります。

交流促進施設「アポイ山荘」は、昨年、利用者の減などによる経営圧迫を受けて、町民の福祉と公衆浴場機能を維持する観点から、指定管理委託料の増額をさせていただいたところですが、指定管理者である株式会社光開発公社では、３力年の受託計画を策定する中で、宿泊料金の改定や接客サービスの向上、コスト削減などの経営改善策に取り組んでいるところであり、引き続き計画を着実に実行し、

町道の維持管理については、日常の利便性や快適性の確保に努め、点検・補修を継続し、雨水対策としての河川管理施設や排水溝の点検・改修も含め、引き続きより効率的な維持管理に努めるとともに、河川管理施設や排水施設の整備を継続し、大雨等による被害防止対策を図ってまいります。

また、道路施設の老朽化対策として、橋梁の長寿命化修繕計画に基づき、橋梁補修事業を進めるとともに、昨年度実施した近接目視による橋梁の定期点検結果に基づいた措置を進めてまいります。

なお、塩釜トンネルについては、国により注意喚起用設備及び歩道整備が実施されていますが、通行車両の抜本的な事故防止対策について、引き続き関係機関へ要請してまいります。

平成３０年度の町政運営に臨み、その所信を申し述べましたが、依然として厳しい経済状況が続いており、先行きが不透明で不安定ではありますが、第８次様似町総合計画と様似町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、町民の皆さんと共に考え、共に汗しながら、身の丈

に合った行財政運営に努め、職員一丸となって諸問題の解決に取り組んでまいります。

町議会議員の皆さん、並びに町民の皆さんのさらなるご理解とご支援を賜りますよう心からお願ひ申し上げます、私の所信表明といたします。



歳末大売り出しお楽しみ抽選会

結び

7 発展の基盤づくりのために

豊かな心 生きがいのある人生を

教育行政執行方針

はじめに

平成30年度を迎えるにあたり、新年度の類似町教育行政執行方針について申し上げますので、ご理解とご協力を賜りたいと存じます。

我が国は、今、急激な人口減少や少子高齢化が進行し、他方では、グローバル化や高度情報化などの急速な進展により大きく社会も変化しています。このような変化の激しい時代にあつて、地域の発展を支え未来の創り手となる人材の育成を担う教育の役割が益々重要になつてい



教育長 荒木輝明

ます。

本町では、平成28年2月に策定した「類似町教育大綱」の基本理念である「豊かな心と確かな学力を育む地域と連携した教育・文化のまち」に向け、時代の変化に対応した教育施策を展開してまいります。

本町の教育においては、子どもたちの学力や体力、生活習慣の問題など、さまざまな課題への対応が求められております。

各学校においては、全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、基礎・基本の確実な定着や活用力の向上を図るため、学ぶ意欲を高める授業づくりに取り組んでいるところでありますが、さらなる学力向上の対策として、義務教育の9年間を見通した小中一貫教育の中で小学校と中学校との「小中相互授業」を進めることで授業内容の理解・定着を図ることや家庭学習の充実などを進める「学校改善プラン」

の推進に取り組めます。

本町が持続的に発展していくためには、「未来を担う人づくりへの投資」による教育の充実を図ることが、最も重要な課題であり、コミュニティ・スクールなどを通じて地域全体で子どもたちが夢や希望を実現できるよう支えていく幼児教育から学校教育までの連携した体制づくりが必要です。

類似町の恵まれた自然や歴史をはじめ、貴重な文化を確実に次代へと維持・継承していくことは、教育の使命と言えます。

豊かな心を育てる幼児教育、他者を思いやり、命を大切に自らを高める学校教育、生きがいのある人生を築くための社会教育をはじめ体育・スポーツや図書館活動の推進を図り、生涯学習のさらなる充実をめざしてまいります。

それでは、各分野における主要な方針について申し上げます。

幼児教育の推進

乳幼児期における保育及び教育は、子どもの健全な心身の発達過程に対応した保育環境のも

と、自発的な活動の遊びを通し、

心豊かな人間として生きていくための「生きる力」の基礎となる「資質・能力」を育み、健全な発達を保障する中で学習能力の基本となる「学びに向かう力」を着実につける取組を進めてまいります。

また、子どもの発達や学びの連続性を図るために、小学校との円滑な接続について、教師間の連携を密にするとともに、小学校での体験活動を充実させてまいります。

特に、就学に向けた「文字や数」に対する興味・関心を高める取組として、「もじ・かずタイム」を新たに取入れ、3歳児から段階的に就学につながるよう推進していきます。

類似町に生まれ育つ子どもたちが、類似の自然に触れ、地域のかたがたとのふれあひの中で豊かな心と郷土愛を育む体験活動に取り組んでまいります。

英会話にふれる活動については、昨年7月から新たにJETプログラムを通じて招致した国際交流員(CIR)と外国語指導助手(ALT)を配して、3歳児から5歳児までの各年齢に

応じた、楽しく学べる英会話活動を展開してまいります。

また、保護者が安心して子育てや仕事に従事できるように、認定こども園としての機能はもとより、各種行事や子育て支援事業の充実を図るとともに、放課後児童施設「ひ・ま・わ・り」を活用し、安全と安心な環境の中での健全育成に努めてまいります。

学校教育の推進

急速に激しく変貌する社会の中で、児童生徒が心豊かな人間性を養うために、より質の高い教育環境づくりに努めてまいります。

学力の向上につきましては、「全国学力・学習状況調査」と「標準学力検査」の結果を踏まえ、基礎・基本の習得や生活習慣の定着化が求められることから、きめ細やかな学習指導を行うため、道教委の教員加配をはじめ授業改善推進チーム事業などを有効的に活用するとともに、引き続き各学校に町採用の臨時教職員の配置に向けた連携を道教委と図り、複数の教員による少

人数指導を柱にした学習指導体制の充実を図ります。

特に、昨年4月から類似小学校と類似中学校を併設型の小中一貫校として位置付ける中で、教職員の合同研修と研究を重ねながら、小・中学校の9年間を見通した学習系統表を作成する

中で学習のつまずきポイントの明確化を図り、小学校の授業に中学校の教員が、若しくは中学校の授業に小学校の教員が指導に入る「小中相互授業」にも本格的に取り組むこととし、指導計画や指導方法の改善・充実が

一層図られるよう推進してまいります。

また、夏冬の長期休業中における小中学生の学習サポート事業についても、高校生や大学生の学生ボランティアの協力をいただき、取組を推進してまいります。

コミュニティ・スクールにつきましては、2年間の準備期間を経て、平成30年度から地域や保護者が学校運営に主体的に参画し、学校・家庭・地域が一体となつて、より良い類似町型コミュニティ・スクールの実現に

向けた「学校運営協議会」を立ち上げ、推進してまいります。

地域資源となるジオパークを活用した教育につきましましては、今年10月に本町で開催される第9回日本ジオパーク全国大会を良い機会ととらえ、「類似」を知る学習として、「ふるさとアポイ学」を推進するための専任教員を配置し、各学年に配慮した授業内容と継続性のある学習の体系化を図り、推進してまいります。

各学校の教育目標を達成するため、教職員の指導力向上に向

けた校内研修の充実や積極的な各種研究会などへの参加を奨励するために引き続き支援を図ってまいります。

英語教育につきましては、小学校においては次期学習指導要領への移行期間となり、授業時間を確保して取り組むほか、2名の外国語指導助手(ALT)を効果的に活用し、小学校・中学校での指導を通して英語力の向上を図るとともに、コミュニケーション能力や異文化への理解を深め、グローバル社会に生きる児童生徒の育成に努めてまいります。

特別支援教育につきましては、児童生徒一人ひとりの個性に応じた学習・生活の支援に努め、円滑な学びの体制の充実を図ってまいります。



イングリッシュトライアル

児童生徒指導につきましては、「教科道徳」を活用する中で、規範意識や倫理観、生命の大切さや他人を思いやる心を育み、学校、家庭、地域、関係機関との連携により児童生徒の健全育成と意識の高揚を図ってまいります。

社会教育の推進

町民の皆様が心豊かな生活を送り、住みよいまちづくりに取り組むことができるよう、それぞれの興味・関心をとらえ、多様な学習機会の提供や町民の自主的な学習活動の支援をしてまいります。

コミュニティ・スクールの実施にあたり、地域全体で子どもたちの成長を支え、地域と学校が相互に連携・協働して行う「地域学校協働活動」に、長年積み重ねてきた町民のさまざまな学びや活動を有効に活用されるよう取り組んでまいります。

少年教育につきましては、世界ジオパークに認定された本町の特色ある自然・歴史・文化といった、地域の教育資源を活かした体験活動を通して、規範意



町子連キャンプ大会

識や自主性、愛郷心を育み、豊かな人間性の育成を図ります。

学校教育活動を地域で支える「学校支援ボランティア」や小学校高学年の児童を対象にした「放課後子ども教室」等を行う「学校・家庭・地域連携協力推進事業」について、さらに充実した取り組みを進めてまいります。

高齢者教育につきましては、各地区の老人クラブなどの連携した学習機会の提供のほか、自主的な学びや異世代との交流を図る事業を行い、参加者の生きがいづくりにつなげてまいります。

成人教育につきましては、市民の幅広い興味・関心に応えることのできる講座等を実施してまいります。

青年・女性教育につきましては

■社会教育の推進…主な取り組み

▼社会教育事業

- …少年教育～地域の教育資源を活かした体験活動、学校・家庭・地域連携協力推進事業の充実
- …青年・女性教育～各種連携事業を推進
- …成人教育～幅広い興味・関心に応える講座等を実施
- …高齢者教育～老人クラブなどと連携し学習機会を提供

▼アイヌ文化の振興

- …専門職員を配置し文化保存団体の活動を支援

▼芸術・文化活動

- …文化協会等の各種団体の活動を支援、公民館を活用した美術展の開催

▼郷土館活動

- …国の史跡指定になった様似山道を活用した文化庁主唱「歩き・み・ふれる歴史の道」事業を開催
- …蝦夷三官寺の北海道遺産選定に向けた三官寺地域の連携
- …埋蔵文化財特別展開催

▼図書館活動

- …ブックスタート事業を実施
- …学校図書室の利活用・蔵書更新
- …貴重な地域資料の収集と情報発信の加速

▼体育・スポーツ

- …少年団の育成支援、各種教室の開催
- …さまざまなプログラムの提供、各種団体の組織運営を支援
- …ヤングシニアスクール事業を通じた高齢者の健康サポート
- …各施設の維持管理、学校開放事業・小学校プールの開放事業を実施

体育・スポーツの推進

町民の皆様が人生を健康で生き生きと過ごせるよう、それぞれの年代や関心に応じて日常的にスポーツに親しめる機会の提供に努めてまいります。

青少年スポーツでは、子どもたちが生涯にわたり豊かなスポーツライフを実現できるよう、スポーツ少年団の育成支援や各種スポーツ教室の開催を通じ、達成感や連帯感を養うとともに、スポーツに親しむ機会の提供を推進してまいります。

成人スポーツにつきましては、スポーツ習慣や健康づくりへの魅力と意欲の向上につなげるためのさまざまなプログラムの提供や各種団体の組織運営への支援を行ってまいります。

高齢者スポーツにつきましては、楽しく継続的に行なえるプログラムとして、引き続き「ヤングシニアスクール事業」を開催し、心身の健康増進と生きが

いのある生活を通じて健康寿命を延ばせる活動をサポートしてまいります。

各スポーツ施設につきましては、利用者のスポーツニーズに対応できるよう維持管理に努めるとともに、学校開放事業においては、各団体による有効活用を推進し、引き続き小学校プールの開放を実施するなど、親しみやすいスポーツ環境と利便性の向上に努めてまいります。

以上、平成30年度の教育行政の各分野における主要な方針を申し上げます。

今後、さまざまな教育課題にスピード感と緊張感を持って全力で取り組むとともに、学校や保護者をはじめ、関係機関・団体などと連携を図りながら、子どもたちの未来を育む学校教育並びに豊かな心と文化を育む社会教育のさらなる充実をめざし、町民の期待と信頼に応えられる教育行政を推進してまいります。

町議会議員の皆様並びに町民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。平成30年度の教育行政執行方針といたしま



3月～MARCH～

3月は2軒のお宅を訪問し、プレゼントを手渡すことができました。



川上 ゴブナサン つばき 椿姫ちゃん 2歳



佐藤 みくる 美来ちゃん 3歳



（このほかに3月中に誕生日を迎えたかたは、次のとおり）
・南 早織ちゃん（3歳）

を後世に伝えるため、保存と活用を計画的に行うよう、さらに検討を進めてまいります。
また、重要文化財の普及・活用を図るため、等廻院をはじめ「蝦夷三官寺」の北海道遺産選定に向け、三官寺地域3市町（様似町、厚岸町、伊達市）が連携し取り組むほか、埋蔵文化財への理解と関心を高める特別展を開催してまいります。
アイヌ文化の振興につきましては、専門職員を配置した中で文化保存団体の活動を支援し、郷土館展示の更新や町民向けの学習機会の提供など、文化の保

図書館活動の推進

すべての子どもたちがあらゆ

存・継承と活用に取り組んでまいります。
芸術・文化活動につきましては、公民館を拠点に活動する文化協会等の各種団体に対し、活動支援を行うとともに、本町の特色ある事業として、公民館のギャラリー等を活用した美術展の開催や学校への芸術指導者派遣事業など、児童生徒の情操教育や町民の文化振興を図ってまいります。

る機会や場所において、自主的に読書活動ができる環境づくりを図るという「様似町子ども読書活動推進計画」の基本理念に基づき、乳幼児と保護者が絵本を介して、心ふれあう機会を持つ取組として「ブックスタート事業」を実施するとともに、学校図書室の利活用を図るため、図書配置のレイアウト替えや蔵書の更新などの学校支援を積極的に推進いたします。
また、様似町の文化・歴史やアポイ岳世界ジオパーク関連資料など貴重な地域資料の収集と情報発信の充実を加速化させ、